

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNP ファインオプトロニクス 三原東工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原73-1

(3) 業種

2899 その他電子部品・デバイス・電子回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度を基準年度とし、平成26年度から平成32年度までの7年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成17年度	平成32年度	平成26年度	平成27年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO2	147,968	133,171 10.0	110,227 26.0	90,872 39.0			
非エネルギー起源CO2	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メタン	80	72 10.0	68 15.0	55 31.0			
一酸化二窒素	104	93 10.0	57 45.0	47 55.0			
フロン類	16	15 10.0	16 1.0	145 -795.0			
温室効果ガス実排出量総計	148,168	133,351 10.0	110,368 26.0	91,119 39.0			
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価	生産ラインの稼働率低下（一部撤去を含む）により、エネルギー起源のCO ₂ 排出量は減少。業務用冷凍空気調和機器の整備により、フロン類のCO ₂ 排出量は増加。COPの良いターボ冷凍機の優先運転や、外気や設備の負荷変動に応じた効率運転及び設定の見直し等の改善は随時実施しており、温室効果ガス排出量の削減ができた。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 基準製品加工面積(千㎡)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成17年度	平成 年度	平成26年度	平成27年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)		0.0	2.744 #DIV/0!	3.392 #DIV/0!		0.0	0.0
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を年1.0%削減	・COPの良い熱源設備へ更新 (COPのよいターボ冷凍機の稼働率UP) (吸収式冷凍機をターボ冷凍機へ更新検討) ・外気や設備の負荷変動に応じた効率運転 (温湿度設定や運転状況の見直し) 等
2	電力使用量の削減	電力使用量を年1.0%削減	・生産ライン停止時の電力ロス削減 (不要設備の停止、ポンプの適正運転) 等
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	産業廃棄物削減	ゼロエミッション (最終処分場利用率0.5%以下) を維持	設備、技術、生産工程の改善 分別回収、リサイクルの推進
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。